

# 【申請書記載例】

別記様式第1号（第7条関係）

令和6年6月1日

（宛先）新潟市長

申請者 〒 950-0000  
住所 新潟市中央区学校町通1番町602番地1  
氏名 新潟 太郎

## 新潟市地域脱炭素移行・再エネ推進重点対策加速化事業補助金 交付申請書

標記補助金の交付を受けたいため、交付を申請します。

### 1 申請者の情報

電話番号	025-228-1000	E-mail	xxx@yyy.zzz
(事業者のみ)部署名		(事業者のみ)担当者氏名	

### 2 補助対象事業の種類

断熱改修要件確認書の「補助対象経費総括表」と一致すること

区分	補助メニュー	申請する全ての設備に✓	補助申請金額	使用する交付申請書別紙
個人	ZEH	<input type="checkbox"/>	円 (1戸55万円)	別紙2-1
	既存断熱改修	<input checked="" type="checkbox"/>	309,000円 (上限120万円)	別紙2-2
事業者	ZEB	<input type="checkbox"/>	円 (上限2,000万円)	別紙2-3
	太陽光発電設備 (地域共生・地域裨益型)	<input type="checkbox"/>	円 (上限1億円)	
	太陽光発電設備 (自家消費型)	<input type="checkbox"/>	円 (5万円/kW, 上限200kW又は1,000万円)	
	地中熱利用設備	<input type="checkbox"/>	円 (上限1,000万円)	
	高効率照明機器	<input type="checkbox"/>	円 (上限100万円)	

※補助対象、補助申請金額には消費税は含めないこと。また1,000円未満は切り捨てること。

※個人と事業者は同時に申請できません。またZEHと断熱改修は同時に申請できません。

※太陽光発電設備（地域共生）は、その他の設備と同時に申請できません。

※太陽光発電設備（自家消費型）の容量kWは、パネル合計またはパワーコンディショナのいずれか小さい方を用いること。また、小数点以下は切捨てとする。

施工者が市内事業者である必要あり

補助事業の概要書（断熱住宅）

施工者の情報 ※市内本店、支店、 <u>営業所、展示場等</u> がある必要あり	名称	Z E H工務店
	住所	中央 区 △△町1-2-3
	担当者名	新潟 花子
	電話番号	000-0000-0000
	Eメール	aaa@bbb.ccc
補助対象と なる住宅情報	住所	江南 区 ○○町1-2-3
	断熱の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ガラス・窓 <input checked="" type="checkbox"/> 断熱材 <input checked="" type="checkbox"/> 玄関ドア
	改修室 改修部位	1階 居室、台所、玄関 2階 寝室×2 ← 主たる居室は必須  ※室名等をすべて記載のこと（例：玄関、2LDK）
	工事着手日	令和6年10月1日
	完了予定日	令和7年2月1日 ← 実績報告締切（3/1）に間に合う日付であること
申請要件の 確認 ※すべてに✓が入 らないと補助金申 請できません	<input checked="" type="checkbox"/> 要綱第6条の要件を満たします。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 交付金交付要綱第29条に定めるとおり、交付金の条件や各種法令を遵守して補助事業を実施します。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 専用住宅です。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 居間（または主たる居室）を含んで改修を行います。← 主たる居室の改修は必須	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改修する居間等のすべての外皮部分の施工を行います。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 導入する製品は、新品かつ環境省の事業登録済みの製品です。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改修する住宅を所有かつ居住しています。 所有予定及び居住予定の場合、実績報告時に当該住宅を所有する登記事項証明書及び入居後の住民票の写しを提出します。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 本補助金以外に、国の予算による補助金の交付を受けません。	
<input checked="" type="checkbox"/> 過去に本補助金の交付を受けていません。		
<input checked="" type="checkbox"/> 使用量などの実績データを市に提供することに同意します。		
添付書類	要綱別表3（交付申請添付書類）の一覧表の該当箇所に✓し、一覧表及び必要書類を添付すること。	

別表3および必要な添付書類をつけること

補助対象経費

補助対象金額	補助申請金額
929,400 円	309,000 円

※消費税は補助対象金額に含めないこと。補助申請金額は、別記様式第1号の補助申請金額と一致すること。

断熱改修要件確認書の「補助対象経費総括表」と一致すること

別表3（第7条関係）

## 交付申請添付書類

区分	添付書類	チェック欄	
共通	設置場所及び付近見取り図	<input checked="" type="checkbox"/>	
	見積書の写し（補助事業の対象経費が分かるもの）	<input checked="" type="checkbox"/>	
	法人	対象経費が消費税相当額を含まないことが分かるもの	<input type="checkbox"/>
		・各種契約にあたり、競争入札を行ったことが分かる書類 ※申請時に未実施の場合は実績報告時に提出すること ・競争入札を行わない場合、その理由と金額の妥当性の根拠となる書類	<input type="checkbox"/> ※
		納税証明書（新潟市制度用。申請月の1か月前以降に発行されたもの） ※市外に居住し、実績報告までに転入する個人を除く	<input checked="" type="checkbox"/> ※
	法人	補助対象設備を設置する場所・店舗等が、市内の本店、支店、営業所又は土地であることが分かる書類（登記簿謄本等。申請月の3か月前以降に発行されたもの）	<input type="checkbox"/>
		暴力団排除条例に基づく誓約書兼同意書	<input type="checkbox"/>
	委任状（申請を代理人が行う場合）	<input checked="" type="checkbox"/> ※	
ZEB	事業計画書	<input type="checkbox"/>	
	BELS 評価書の写し、およびその計算根拠 （未取得の場合は、認証を満たす計算根拠のみを提出し、認証は実績報告時に提出すること）	<input type="checkbox"/>	
太陽光発電設備 （地域共生・地域裨益型）	事業計画書	<input type="checkbox"/>	
太陽光発電設備 （自家消費型）	設備図面及び性能がわかる下記の書類 ・平面図等（パネル枚数が分かるもの） ・パネル及びパワコンの発電量や型番が分かる書類（カタログ等） ※申請書に記載する容量と一致すること。 ・系統図（逆電力継電器 RPR が分かるもの）	<input type="checkbox"/>	
	パネルが安全性に関する第三者認証（JET、TUV 等）の取得が分かる書類	<input type="checkbox"/>	
	推定発電量と消費予定電力量が分かる資料（過去実績を根拠とし、年間を通し50%以上消費することが分かるものに限る）	<input type="checkbox"/>	
	（PPA・リース事業の場合）設備導入に要した経費が確認できる書類 ※PPA事業者が設備を保有しない場合は保有するリース事業者などの設備導入経費が分かる書類	<input type="checkbox"/>	
地中熱利用設備	流量の調節機能を有することが分かる書類（カタログ等）	<input type="checkbox"/>	
高効率照明機器	調光機能を有することが分かる書類（カタログ等）	<input type="checkbox"/>	
ZEH	『ZEH』等を示すBELS 証書の写し	<input type="checkbox"/>	
	一次エネルギー消費量計算結果（BELS 申請時に用いたもの）	<input type="checkbox"/>	
	導入する設備概要が分かる書類であって、別途市が定める書類	<input type="checkbox"/>	

既存住宅 断熱改修	住宅を所有することが分かる登記事項証明書等の写し (改修後に所有する場合は実績報告時に提出すること)	<input checked="" type="checkbox"/>
	住民票の写し (申請月の1か月前以降に発行されたもの) (改修後に居住する場合は実績報告時に提出すること)	<input checked="" type="checkbox"/>
	<u>補助対象設備、経費が分かる書類であって、別途市が定める書類</u>	<input checked="" type="checkbox"/>
その他	市長が必要と認める書類	<input type="checkbox"/>

「断熱改修要件確認書」を貼付すること

【設置場所及び付近見取り図の例】



# 【見積書の例】

宛先が申請者であること

## 見積書

令和 6年 ●月 ●日

新潟 太郎 様

見積金額 2,200,000 円  
うち、法定福利費 80,000 円  
見積金額には消費税を含んでおりません。

住 所 中央区△△町1-2-3  
会社名 ZEH工務店  
担 当 新潟 花子  
TEL 000-0000-0000  
FAX  
E-mail aaa@bbb.ccc

工事 新潟太郎様断熱改修工事  
工事場所 江南区〇〇町1-2-3  
見積有効期限 令和6年〇月〇日  
支払条件 別紙による  
納期 別紙による  
受渡場所 別紙による

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額
断熱改修	改修内訳参照	1	式		1,830,000
既存撤去費		1	式		150,000
廃棄物処分費		1	式		20,000
消費税		1	式		200,000
合計					2,200,000

本見積書の法定福利費には、現場労働者に関する雇用保険、健康保険、介護保険及び厚生年金保険の法定の事業主負担額を計上しています。なお、現場労働者以外の製品製造工場の労働者等に関する法定福利費は、製品価格等の見積額に含んでいます。

補助対象経費が分かるようマーク等すること。  
 この例では外構工事、什器取付工事および消費税は  
 補助対象外

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額
外壁改修	断熱ボードC	#	m <sup>2</sup>	15,000	900,000
天井改修（1階）	50mm + 25mm	#	m <sup>2</sup>	10,000	300,000
天井改修（2階）	50mm + 25mm	9	m <sup>2</sup>	10,000	90,000
ドア改修		1	式	120,000	120,000
窓改修（1階）	900×1800	5	枚	50,000	250,000
窓改修（2階）	900×900	5	枚	30,000	150,000
窓改修（換気小窓）		2	枚	10,000	20,000
小計					1,830,000

ドア改修をする場合、費用が分かること  
 （断熱改修要件確認書の内訳書1に転記）

# 納 税 証 明 書

納 税 義 務 者	氏 名 ま た は 法 人 名 (自営の場合は氏名)	新潟 太郎
	住 所 (所 在 地)	新潟市中央区学校町通1番町602番地1

証 明 事 項	市税に未納はありません。  「市税に未納はありません。」と記載されていること。 未納がある場合は補助金を交付できません。	(備考) ただし、現時点で課税の有無を問わず次の税目において確認したもの。 (共有資産分を除く)  (個人) 市・県民税 固定資産税・都市計画税 軽自動車税 国民健康保険税 事業所税  (法人) 法人市民税 事業所税 固定資産税・都市計画税 軽自動車税 特別土地保有税 市・県民税特別徴収者分
---------	---	---

新市税 (税証) 第 号

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 6 年 6 月 1 日

新潟市長



# 【委任状記載例】

令和 6 年 6 月 1 日

(宛先) 新潟市長

## 委任状

委任状	委任者 (申請者)	住所	(〒 950-0000 ) 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
		氏名	新潟 太郎
		電話番号	025-228-1000
	受任者	住所	(〒 950-0000 ) 中央 △△町1-2-3
		氏名	ZEH工務店 新潟 花子
		電話番号	000-0000-0000
		Eメール	aaa@bbb.ccc
委任事項		新潟市地域脱炭素移行・再エネ推進重点対策加速化事業補助金の申請および実績報告について委任します。	

中央区学校長通1番町602番地1

全部事項証明書

(建物)

表題部 (主である建物の表示)		調製	[余白]		不動産番号	00000000000000	
所在図番号	[余白] 補助対象となる住宅の住所(またはその一部)を含む土地であること						
所在	中央区学校長通1番町602番地1				[余白]		
家屋番号	[余白]				[余白]		
①種類	②構造	③床面積		m <sup>2</sup>	原因及びその日付〔登記の日付〕		
居宅	木造かわらぶき2階建	1階	80	00	令和1年5月1日新築		
		2階	70	00	〔令和1年5月7日〕		
表題部 (附属建物の表示)							
符号	①種類	②構造	③床面積		m <sup>2</sup>	原因及びその日付〔登記の日付〕	
1	物置	木造かわらぶき平家建	30		00	〔令和1年5月7日〕	
所有者	[余白] 新潟 太郎						

権利部 (甲区) (所有権に関する事項)			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権保存	令和1年5月7日 第805号	所有者 [余白]

権利部 (乙区) (所有権以外の権利に関する事項)			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	抵当権設定	令和1年5月7日 [余白]	[余白]

共同担保目録			
記号及び番号	[余白]	調製	令和1年5月7日
番号	担保の目的である権利の表示	順位番号	予備
1	[余白] 番の土地	1	[余白]
2	[余白] 番の建物	1	[余白]

\* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

# 見本

公印が押してあること

これは登記記録に登録されている事項の全部を証明した書面である。

令和

登記官

\* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

整理番号



# 【住民票の写し 見本】

申請者の名前があること  
住所が申請書の別紙2-1の「補助対象となる住宅情報」の住所と一致すること

## 住民票

住所	新潟県新潟市●●区● 1-2-3				
世帯主	新潟 太郎				

1	氏名	新潟 太郎			日 日 日		
	旧氏	【空欄】					
	生年月日	令和●年●月●日	性別	●		続柄	【省略】
	本籍	【省略】					
	転入前住所	*** **					
	*** **	*** **					
異動前住所：記載なし							
2	氏名	【以下余白】			個人番号		
	旧氏				住民票コード		
	生年月日		性別		続柄		
	本籍				住民となった年月日		
	転入前住所				住所を定めた年月日		
	*** **	*** **			届出日		
*** **	*** **			筆頭者			
3	氏名				個人番号		
	旧氏				住民票コード		
	生年月日		性別		続柄		
	本籍				住民となった年月日		
	転入前住所				住所を定めた年月日		
	*** **	*** **			届出日		
*** **	*** **			筆頭者			
4	氏名				個人番号		
	旧氏				住民票コード		
	生年月日		性別		続柄		
	本籍				住民となった年月日		
	転入前住所				住所を定めた年月日		
	*** **	*** **			届出日		
*** **	*** **			筆頭者			

この写しは、住民票の原本と相違ないことを証明する。

令和6年●月●日

新潟県新潟市中央区長

〇〇 〇〇

公印

申請月の1か月前以降であること  
(例：令和6年6月1日～6月30日の間に申請する場合、令和6年5月1日以降発行のもの)

# 【断熱要件確認書の記載例】

## 断熱改修要件確認書

### 1 確認事項

- 主たる居室を改修する。
- 専用住宅である（店舗や事務所などの併用住宅でない）
- 玄関の断熱材、窓・ガラスと同時に改修する（※玄関を改修しドアの補助申請する場合）

必須

■
■
■※

### 2 住宅の延面積を算出

延べ面積	150 m <sup>2</sup>	①
------	--------------------	---

主たる居室を必ず改修すること

図面や登記簿謄本と一致すること

### 3 断熱改修する部屋と面積を決定し、改修割合を算出

室番号	室名	主たる居室に○	面積
室名 1	1階 居室	○	20 m <sup>2</sup>
室名 2	1階 台所		24 m <sup>2</sup>
室名 3	1階 玄関		3 m <sup>2</sup>
室名 4	2階 寝室 1		20 m <sup>2</sup>
室名 5	2階 寝室 2		20 m <sup>2</sup>
室名 6	室名は図面等と一致させること		m <sup>2</sup>
室名 7			m <sup>2</sup>
合計	※行が不足する場合は追加すること。		87 m <sup>2</sup>
改修割合			58%

図面や面積表と一致すること

③ = ② ÷ ①

### 4 「エネルギー計算結果早見表」の確認

断熱部位数	組み合わせ	最低改修率	採用
4 部位	天井 + 外壁 + 床 + 窓・ガラス		<input type="checkbox"/>
3 部位	上記 4 部位のうち 3 部位	25%	<input checked="" type="checkbox"/>
2 部位①	天井 + (外壁、床、窓・ガラスの 1 部位)		<input type="checkbox"/>
2 部位②	外壁 + (床、窓・ガラスの 1 部位)	40%	<input type="checkbox"/>
2 部位③	床 + 窓・ガラス		<input type="checkbox"/>
1 部位	窓	100%	<input type="checkbox"/>

↓採用した組み合わせに✓

改修内容に✓

上記早見表の「最低改修率」より「改修割合③」が大きければ、申請可能  
(改修割合が最低改修率に満たない場合は改修内容を見直してください)

改修割合（例では58%）が  
最低改修率（例では25%）より大きければ申請可能  
58% > 25%

### 5 仕様機器の確認

窓・ガラス	令和5年度の国補助金の登録製品である	<input checked="" type="checkbox"/>
天井、壁（断熱材）	令和5年度の国補助金の登録製品で、熱抵抗値2.7以上である（重ね張り可）	<input checked="" type="checkbox"/>
玄関ドア	断熱材、ガラス・窓と同時に改修し、かつ熱還流率が4.7W/m <sup>2</sup> ・K以下である	<input checked="" type="checkbox"/>
参考URL	<a href="https://ekes.jp/">https://ekes.jp/</a>	

### 6 改修内容の確認

採用製品の仕様が国交付金の仕様を満足すること（参考URLから確認可能）

窓・ガラス	窓はカバー工法窓取付・外窓交換・内窓取付 ガラスはガラス交換 以下は改修要件とせず、補助対象としない。 1. 換気小窓、300mm×200mm以下のガラス窓 2. 換気用ジャロジー窓、ガラスブロック、勝手口 3. 勝手口ドア、テラスドア	<input checked="" type="checkbox"/>
天井（断熱材）	屋根の直下の天井及び外気に接する天井すべてを改修する	<input checked="" type="checkbox"/>
床（断熱材）	浴室、玄関土間は改修困難な場合は改修しなくてよい	<input checked="" type="checkbox"/>

(参考) 北海道環境財団の公募要領頁（令和5年度）

[https://www.heco-hojo.jp/danref/doc/danref\\_kohbo\\_R5\\_06.pdf](https://www.heco-hojo.jp/danref/doc/danref_kohbo_R5_06.pdf)

改修内容を確認のうえ、✓すること

## 補助対象経費 総括表

改修部位	補助対象経費	計算根拠
ガラス交換	0	内訳書 1 より
窓	194,400	
ドア	120,000	
断熱材	615,000	内訳書 2 より
<b>補助対象経費合計 (A)</b>	<b>929,400</b>	
<b>補助率による計算 (B)</b>	<b>309,000</b>	(A) / 3 1,000円未満切捨て
<b>補助算定額</b>	<b>309,000</b>	(B) 又は120万円の低い金額

交付申請書（別記様式第1号）および別紙2-2に記載する金額

補助対象経費 内訳書 1 (窓・ガラス、玄関ドア)

ガラス交換

平面図の 窓番号	登録番号	メーカー名	製品名(シリーズ名)	グレード	ガラスサイズ		面積 a(m <sup>2</sup> )	枚数 b	面積×枚数 a×b(m <sup>2</sup> )
					幅W(mm)	高H(mm)			
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							-	-	0.00

補助対象経費 (ガラス)

グレード	施工面積	基準単価	補助対象経費
G0	0.00	50,000	0
G1	0.00	40,000	0
合計	0.00		0

窓

図面などに窓番号を記載し、記号や枚数を転記すること

平面図の 窓番号	登録番号	メーカー名	製品名(シリーズ名)	グレード or内窓	窓サイズ		面積 a(m <sup>2</sup> )	枚数 b	面積×枚数 a×b(m <sup>2</sup> )
					幅W(mm)	高H(mm)			
A	W000000	●●	●●W	W1	900	1,800	1.62	2	3.24
BC	W000001	●●	●●W-2	W2	900	900	0.81	2	1.62
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							0.00		0.00
							-	-	4.86

1枚当たりのサイズを記入

登録番号、メーカー名、製品名、グレードは下記ホームページから転記すること  
<https://ekes.jp/>

補助対象経費 (窓)

グレード	施工面積	基準単価	補助対象経費
W1	3.24	60,000	194,400
W2	1.62	55,000	89,100
W3	0.00	50,000	0
W4	0.00	40,000	0
内窓	0.00	30,000	0
合計	3.24		194,400

断熱グレードや内窓により、㎡あたりの単価が変わる(自動計算)

玄関ドア

チェック

確認のうえ、✓すること(実績報告時の写真で確認できるようにすること)

<input checked="" type="checkbox"/>	下記製品はランマ付きタイプや袖付きタイプでないことを確認済み
-------------------------------------	--------------------------------

見積もりの金額を記載

断熱仕様	本体型番	メーカー名	商品名(シリーズ名)	税抜金額[円]
D4仕様	D010	●●	●●ドア	120,000
合計 ①				120,000
補助対象経費(玄関ドア) 合計①と15万円の低い方 ②				120,000

図面や求積表で施工面積を求めた根拠が分かるようにし、その番号を記入すること

合計の熱抵抗値が天井・壁2.7以上  
床2.2以上であることを確認すること

補助対象経費 内訳書 2 (断熱材)

断熱材

※不足する場合は行の挿入はせず、シートをコピーしてつかうこと  
 ※屋根の施工面積は、水平投影面積とすること  
 ※求積番号は図面と表で別途作成すること (任意様式)  
 ※合計熱抵抗値は天井・外壁は2.7以上、床は2.2以上であること

部位	求積表番号	構成	登録番号 (環境省)	メーカー名	製品名	グレード	厚み (mm)	熱伝導率 $\lambda$ (W/(m·K))	熱抵抗値		施工面積 (m <sup>2</sup> )
									(R値)	合計	
天井	①-1	一層目	D00001	(株) ●●	硬質ウレタンフォームA	D1	25	0.02	1.25	2.91	39.00
		二層目	D00002	(株) ●●	硬質ウレタンフォームB	D2	50	0.03	1.66		
		一層目							0.00	0.00	
		二層目							0.00		
		一層目							0.00	0.00	
		二層目							0.00		
外壁	①-2	一層目	D00001	(株) ●●	断熱ボードC	D1	75	0.02	3.75	3.75	60.00
		二層目							0.00		
		一層目							0.00	0.00	
		二層目							0.00		
		一層目							0.00	0.00	
		二層目							0.00		
床		一層目							0.00	0.00	
		二層目							0.00		
		一層目							0.00	0.00	
		二層目							0.00		
		一層目							0.00	0.00	
		二層目							0.00		
-											99.00

吹付工法の場合は、環境省登録の事業者が施工します。(該当する場合のみ✓)

補助対象経費

部位	求積表番号	グレード	施工面積	基準単価	補助対象経費
天井	①-1	D1	39.00	5,000	195,000
	0		0.00		
	0		0.00		
外壁	①-2	D1	60.00	7,000	420,000
	0		0.00		
	0		0.00		
床	0		0.00		
	0		0.00		
	0		0.00		
合計	-	-	99.00	-	615,000

↑ 施工範囲において複数の層を施工しグレードが違う場合、高い方のグレードを入力

基準単価			
グレード	天井	外壁	床
D1	5,000	7,000	7,500
D2	4,000	6,000	6,500
D3	3,000	5,000	5,500
D4	2,000	-	-

求積表と一致すること

施工の厚さを記入

登録番号、メーカー名、製品名、グレード  
熱伝導率は下記ホームページから転記すること

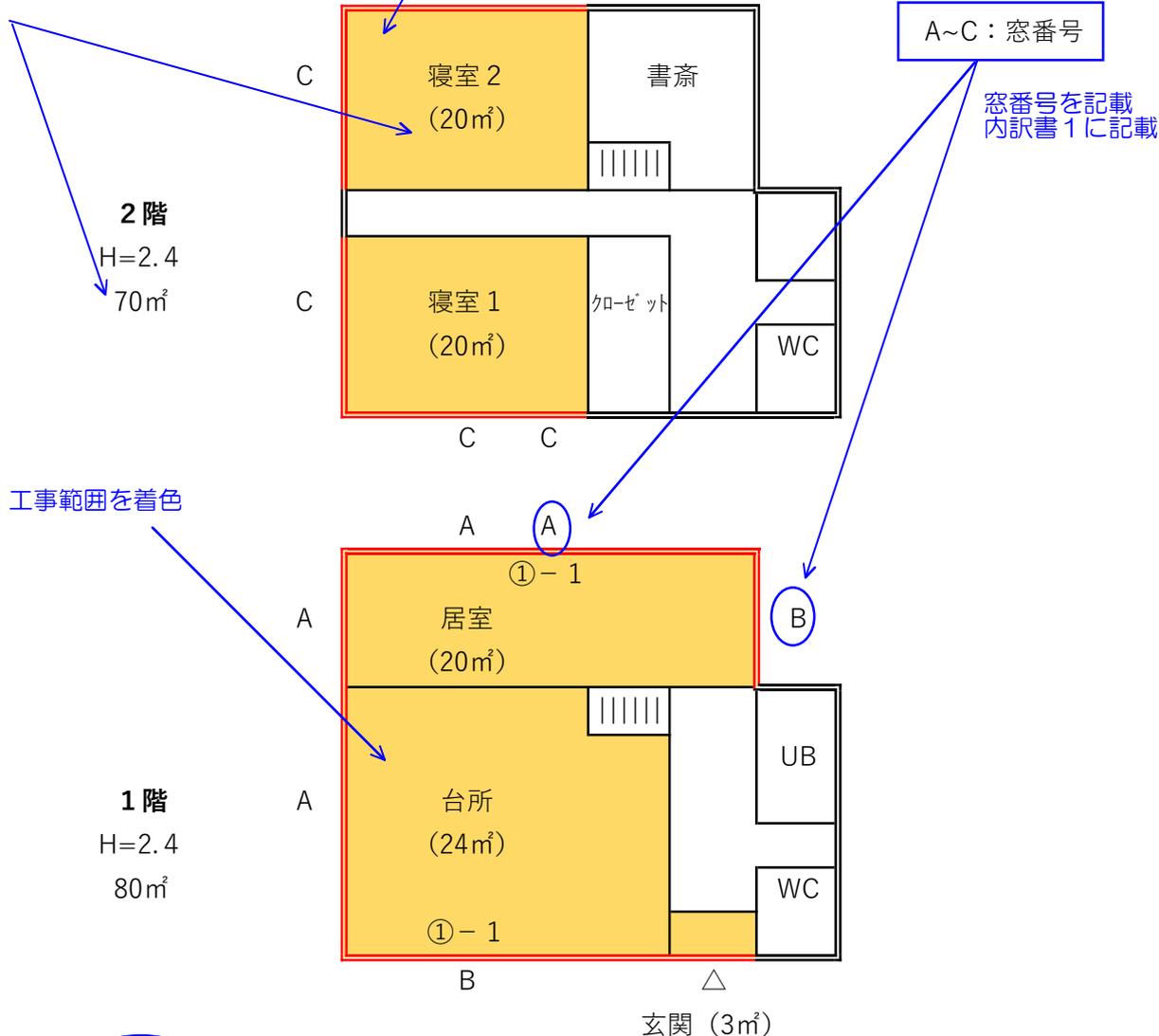
登録番号は以下のホームページから転記すること  
(R 6年度)  
<https://ekes.jp/>

# 【平面図、求積表の例】

## 新潟太郎様邸 断熱改修図

対象室において、屋根の直下および外気に接する天井は、すべて改修すること

室面積を記述  
延べ面積が分かるものを記述



工事範囲を着色

1階  
H=2.4  
80m<sup>2</sup>

求積表

天井		長手	短手	面積
①-1	台所	4.0 ×	4.0 =	16.0 m <sup>2</sup>
	居室	5.0 ×	2.8 =	14.0 m <sup>2</sup>
	寝室 1,2	3.0 ×	3.0 =	9.0 m <sup>2</sup>
	合計			39.0 m <sup>2</sup>

求積表で天井改修面積や  
外壁改修面積を計算

壁		高さ	長さ	面積
①-2	台所	2.4 ×	7.0 =	16.8 m <sup>2</sup>
	居室	2.4 ×	8.0 =	19.2 m <sup>2</sup>
	寝室 1,2	2.4 ×	10.0 =	24.0 m <sup>2</sup>
	合計			60.0 m <sup>2</sup>

求積表で計算した面積を内訳書2（断熱材）の  
施工面積に転機